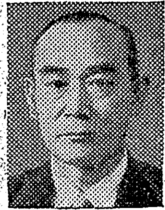
夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

割烹
さるた
平市桜小路
電四三六

第三區の自由黨公認
關内、太田の兩氏
相馬地區は最後まで揉む

自由党第三区の公認を決定する選挙対策委員会は二十二日午後零時半から郡山市太田屋旅館に開かれ石城、平市代表は関内正一氏を推薦、双葉郡は高木氏の除名に依つて持駒無く支部決定に一任、石城地区の関内正一氏はアツサリ決定を見たが、相馬地区から太田秋之助、鈴木直人の両氏を推して譲らず、午後三時ごろ未決定のまゝ委員会を福島市に移し、同夜十一時ごろに至つて第三区は関内正一、太田秋之助両氏に決定した旨発表された（寫眞は関内氏）



關内氏の當選期す
石城部會は一致結束誓う

自由党石城支部の緊急役員会は別項の如く郡山市太田屋旅館に開かれた県の対策委員会に先立ち、二十一日午後一時半から民報ホールに開かれた、出席者は幹事長小野義一氏、事務局長大平正次両県議のほか郡内の町村長　同議長等役員二十余名で、小野幹事長から参議院議員公認に全国区渡辺信任、地方区石原幹市郎、同大和田弥一の両氏に決定に至る経過を説明し、次いで衆議院候補の公認を二十二日の県選挙対策委員会で決定することに成つたので、石城部会の態度を決定して委員会に臨みたい、県支部の態度は大竹知事のもとに一致結束し自由党の本流である吉田派一本で進むことに成つたからそのつもりで選考されたいと計り、大河原茂平氏から『前回落選した関内正一氏は何れの党派に屬するのか』と質問、小野幹事長から『関内氏は鳩山派と謂われて来たが前国会議長の大野伴睦氏と常に行動を共にして来て居り、大野氏は自由党の分党派に走らないから関内氏も当然大野氏と共に本流の吉田派であると信ずる、高木松吉氏は除名に決定した旨県支部へ通知があつた』と説明、大河原氏は『それでは前二回代議士に当選し、中央でも大きい力を為している関内正一氏を公認し、極力当選を期したい』と関内氏を推薦、満場一致拍手をもつて大河原氏提案の関内氏を石城部会の公認候補に推薦することになつた

なお県会議員など県支部の最高幹部の態度について二、三質問があり、これに対して小野幹事長から『一昨日（十八日）石城郡選出の県会議員が集つて吾等の態度について相談した際、運沼県会議長も時局重大の折柄、党を割るようなことなく大竹知事と行動を共にする、と意志を明らかにして居り、他の議員も吉田派と肚を決めたようであるから離党してまで分党派を応援する者はないと思う、若し選挙中頃にして態度を変えるものありとせば、吾等は断乎として排撃するつもりである、石城郡から代議士を出して居らないと政治、経済、文化などあらゆる面でマイナスであるから一切の私情を捨て、関内氏の当選を期し大石城のため、県政のため、国政のために寄与せしめたい』と熱情をこめて強く要望するところあつた

あす市會開く

平市定例市会は二十四日午前十時から開会、会期は七日以内と決定した、市当局では二十四日の本会議には二十七年度追加更正予算案はじめ二十八年度当初予算案など提出議案三十七件を一括説明、二十六年度決算、二十七年度事務報告なども行い、二十五、二十六の両日は議案調査にあて二十七日本会議を招集、総括質問を行い、各部委員会に附託、二十八日も引続き委員会を開き順調にゆけば二十九日本会議を開催する予定である

市新豫算
一億九千六百万圓
主なる事業の内容

二十八年度当初予算案は総額一億九千六百四万千九百七十円（二十六年度当初予算一億五千百六十万四百四十円）で主なる事業を挙げると二十七年度で打切りとなつた都市復興計画事業を継続▼長橋町の重要幹線道路整備二千万円▼旧尼子橋の架替二百万円▼三十米道路の延長工事（谷川瀬まで）六百万円▼平第一中改築工事九百九十万円▼消防自動車ポンプ一台購入二百二十万円▼児童遊園地設置二百十万円▼庶民住宅五十三戸建築千八百万円このほか白土地内に本年度から五カ年継続事業で墓園を設置する計画も進められ本市会で単行を決議するが当初予算案の内訳次の通り

【歳入】▼市税八九・二四〇・五六五円▼平衡交付金一四・〇〇〇・〇〇〇円▼公営企業及財産収入一・五三六・三六三円▼分担金及負担金一・四四〇・九六八円▼使用料及手数料五・二一六・〇〇〇円▼国庫支出金四五・〇六二・六二一円▼県支出金二・九二一・〇八二円▼寄附金一・四一〇・二五〇円▼繰入金八・〇〇〇・〇〇〇円▼繰越金二〇〇・〇〇〇円▼雑収入一・四八四・一二一円▼市債二五・六三〇・〇〇〇円▼歳入合計一九六・〇四一・九七〇円

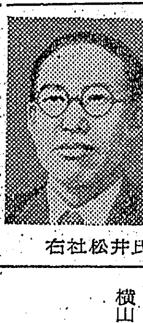
【歳出】▼議会費四・九四〇・一一〇円▼役所費三二・九八四・五四三円▼警察消防費三一・三五三・三七一円▼土木費一八・七九六・一四一円▼教育費二六・六七四・七〇〇円▼社会及労働施設費五七・四六二・一七〇円▼保健衛生費三・二七八・〇五二円▼産業経済費八・三三七・六三五円▼農林費二・二五四・一一二円▼商工費一・四七九・五〇〇円▼財産費一・五六二・一三七円▼統計調査費三六・三〇〇円▼選挙費六九五・七八九円▼公債費五・八九九・七二六円▼諸支出金二・一三一・二九六円▼予備費二・〇〇〇・〇〇〇円▼歳出合計一九六・〇四一・九七〇円

吉田總裁訪問
關内氏日歸りで上京

自由党第三区の公認と決定した関内正一氏は二十三日午前七時十分発急行で上京　吉田総裁を訪問地方の選挙情勢を報告して同夜十時三十四分平駅着急行で帰平

左右社黨が咬み合う
戰線統一の夢は全く破る

今次総選挙に第三区から社会党として右派から松井政吉氏、左派からは大河原一次氏の両名が出馬することに決定した、前回の総選挙には左右社会党が一本槍で松井氏を推した情勢とは打って変り社会党の金城湯池も完全に両派が対峙し『喰うか喰われるか』の激しい一幕が演じられ注目されて来た



右社松井氏

左社大河原氏

社会党が中央で両派に分裂してからも社会党県連では両派の統一化方針をとり特にその推選母体ともなつたのは浜通り地方協議会であつた、だから前回の衆議院選挙には右派的存在だつた日鉱常連の推す松井氏に対し左派勢力の強い磐炭労も▼社会党統一化の促進を計る▼炭労のため積極的に働くとの条件で相馬から出馬するハズだつた左派の横山氏を大河原氏がなだめて断念させたのであつた、又二十五年四月の県議選にも社会党両派の間に地盤協定も行われ右派の田畑、渡辺、左派の大河原の三氏は良く奮戦した、この様な経過であつたが、今次総選挙には両派間に一回の話合もなく社会党統一化の夢は完全に破られた右派勢力である日鉱常連の某幹部は『先月の県地方労協第五回委員会で左派の出したスローガンが否決され参院選挙対策として田畑氏がいるにかゝわらず輸入候補として榊原千代氏を推して来たことがそも〳〵の導火線だつた』と漏らしている、その後両派社会党と地労協との三者懇談会で調整してゆくワケだつたが、そのうち国会解散でウヤムヤとなり遂に左派は榊原氏を推すことに決定したので右派は田畑氏を積極的に支持することになり、客観情勢はこのことによつて両派間に一つのシコリを残したことは事実であつた、左派勢力である磐炭労の某幹部は『前回総選挙に松井氏を一本槍りで推した時の条件を無視し、昨年十月斗争における磐炭労の分裂に対し何等の手を打たず、常炭連や民労連を支持し社会党両派の統一に何を働いたというのだ』と力み、昨年十月斗争で磐炭労が一万九千八百の勢力から常磐、茨城などが脱退し五千四百に墜落した勢力をこの機に面目を一新し左派勢力の奨を強くアツピールせんと躍気になつていることは確かである

炭労から脱退、新組織をつくつた常炭連（会長武藤武雄氏）では日鉱と提携し大河原氏と対決するため武藤会長を推すことになつたが、松井氏の票を喰うことを懸念、その代り茨城第二区から武藤氏が出馬することになり右派社会党の公認を受け左派の大賀候補と対決、日立鉱山にいる同志、神長日本金属鉱労組長や故郷が久慈郡喜世村出身で叔父が久慈郡煙草耕作連合組合長でもと社会大衆党の党員だつた関係などから常炭連、日鉱系の組織労働者の応援も得て万全の準備を進めている、常炭連の某幹部は『三区から左派が出て右派に喰い込むなら茨城二区から立つて左派に喰い込むから同じだ』と皮肉つている

両派の選挙見透しはどうか？未だ得票を数える段階までには来ていないが右社の平支部長大内近雄氏は『前回の選挙で松井氏は五万三千票の得票だつた、社会党としてとれる票数は未だ予想外だが左派の勢力は弱いから割合として松井七分、大河原三分、四分六分となれば良い方だろう』とみているが両派の情勢分析によると右派では松井氏の党歴から見て『心配なし』と見、日鉱常連の組織力二十七組合五十五百名のうち三区だけで二十四組合四千五百名、常炭連は十八組合一万六千七百名のうち八組合一万三千五百名で、磐炭労の十七組合五千四百名のうち三区だけの十組合三千五百名に比べ組織の点で問題なく、常炭連の支持を何よりの強味としている、左派の大河原氏は十月賃金斗争による磐炭労分裂の責任をとつていないことを指摘して相当信用が落ちているものとみている

これに対し磐炭労は常磐では全国に魁け五カ年間に従業員を九千名に減らすという企業整備問題をめぐつて現執行部に対する反感が次第に高まつて来ており現に第七回炭労大会には常磐の斎藤組合長が炭労復帰を要望している事実や常磐が炭労を脱退する際に四割の反対があつた事情等から常磐の地盤に相当喰込めるとし、前回県議選で常磐の推した渡辺勝治氏が七千票台で落ちている事実からおして相当有利に判断している、なお自由党の分裂騒動で社党側に有利に展開していること、前回選挙の部分選出されていること等から情況をみると左派は地方から大組織力以外の民主団体、農民等に働きかけ保守地盤の蚕食に乗り出せばそれ程悲観したものではないとみている（O）

天気予報
廿三日

【今晩】東寄りの風おそくなつて西寄の風、曇時々小雨【明日】西寄の風、曇り勝ちで初めの内小雨後次第に晴間が出る見込み、海上今晩一杯はシケ模様、漁船は注意を要する、明日は西寄りの風やゝ強く風波出る

生徒募集
公認
三浦高等洋裁學院
平市南町六五（電九〇七）
一、本科　一カ年　一五〇名
一、研究科　一カ年　五〇名
一、夜間部　一カ年（隔日教授）　五〇名
裁断科　二カ年
（入学願書受付中）
日本高等洋裁学院連鎖校　古い歴史と堅実なる教授法　学生定期割引の便あり
一、四月五日　入学式

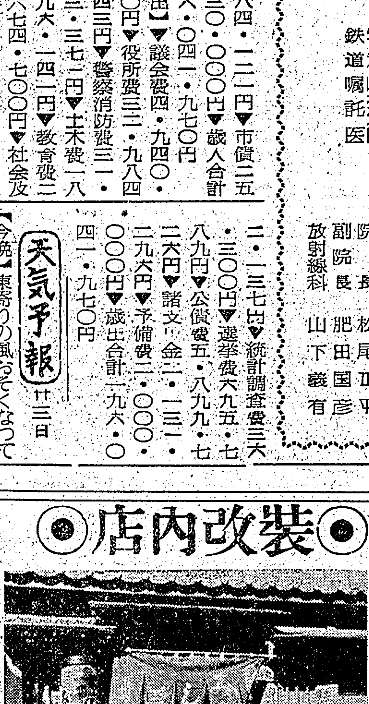
あみもの生徒募集
S式
三月五日
土橋平デザイナー
機械月賦払も可

胃腸科外科
呼吸器科外科
整形外科
産婦人科
放射線科
労災保険指定医
鉄道嘱託医
平市大町五（東北電力西隣）
マツオ医院
電（平）一五四番
院長　松尾正平
副院長　肥田国彦
放射線科　山下義有

生徒募集
四月五日新學期始
▼本科三〇名▼実習科二〇名▼夜間部二〇名
公認
アラキ洋裁學院
院長　荒木重子
願書受付中
学則贈呈
平市鎌田町二二　電一四七一

お手持株券と現金は
有利安全な投資を！
年中無休
午前9時
午後7時
月五分確配
換金自由
新利殖法
呈案内書
富士証券投資
平営業所　平市田町30米大通り
三延ビル　電1017
本社　東京都新宿歌舞伎町
電四谷0233 4888
他出張所・営業所　各地9カ所

◉店内改装◉



このたび店内改装中は皆様に御不自由をかけ申譯ございません
このほど改装を完了致し店内を明るく氣分のよい店にいたしました何卒舊に倍して御愛顧御引立の上ぜひ御來店の程御願い申上げます　店主敬白
壽し　みしま
平市田町（電915）

寫眞　藤森

新築中の近代的洋館が落成しました皆様のお氣に召すパーマネントの外に技術優秀の衛生的理髪部を新設致しました何卒お越し下さい
美容理髪部
美顔術花嫁
衣裳貸付
蛭田パーマネント
（植田町警察署横通）

うまい!! [illegible]

内科
小児科
レントゲン科
小名濱町花畑三七
賀澤醫院
院長　賀澤貞雄
電話二九三番
[illegible]

夜間洋裁・編物生募集
四月より
文化式
個人指導多分・教科書使用
デザイナー平七橋電四八九

原因不明の熱に
タウリンエキス
平市五丁目
電一三四六
平薬局

何處も狹き門

高校入試は終る

二十八年度県下高校入学試験は二十二日午前十時から一齊に施行された、どこの試験場も募集定員をはるかに上廻る受験生でごった返し苦悩と興奮を織りまぜたあわたゞしさの中にも心配そうな父兄や受持教師などの顔、顔が努力の結晶に審判の下る日の深刻な情景を描き出した、試験問題は県下各校とも同じで難しい答案と四つに取組んで受験生たちは泣くも笑うも今日かぎりと全力を挙げて真剣な試験風景を見せた、なお合格発表は二十五日午前十時各校一齊に行われる（寫眞は平工高にて）

秋元、高倉も出場

二周年競輪　豪華版に人氣沸騰

開催二周年を記念する第三回平競輪は二十三日で終り後節は引続き二十四日から行われるが、出場選手は前節九十六名のうち勝残った四十八名に優秀選手六十名が新たに参加、総数百八名で九車立レースを展開する、今度出場する選手の中には東京後楽園で去る二十一日東西オールスター戦で覇を争った秋元、高倉両選手が顔をみせるので相当ファンの人気を呼ぶものとみられている、勝残ったうち優秀選手は田中米子、加古政子、宇垣月子、箱田英美、下条富子、小倉アサ子、斎藤三三、生方貞子、玉野弥生、糸賀てる子、相沢昭司、田中桀、原満、明石和男、横田隆雄、新しく出場する優秀選手は秋元和夫、高倉登、阿久津開司、渡部伍、熊坂克巳、吉野榮輔、小島浩、田中和子、永野信子、矢島寿々枝、中川博子、鵜沼静子

入遠野派出所

入遠野村　は工費六十万円を投じ巡査駐在派出所を建設中であったが過般竣工したので月末ごろ落成式を挙行する

ロープ流失

被害卅六萬圓

二十三日午前七時小名浜漁業用海岸無線局に入った連絡によると泉村下川大畑瀧内進さん所有底曳漁船第七八崎丸（七六トン）は江名町永崎海岸の南約二十マイル沖合で操業中、曳網を磯にひっかけ一寸マニラロープなど十二巻（三十六万円相当）を流失した、現場は波浪高く捜索には困難を極めている模様

34萬圓を横領

鵜沼教諭を身柄送検

既報＝平市署では去る十四日受持生徒の大学受験料を使い込んだ疑いで逮捕した県立磐城高校教諭鵜沼昂一（三〇）＝湯本町三函＝の余罪を追及していたが、受験料八万三千四百円のほか生徒から集めた磐高復興資金、野球部費など十件三十四万千三百七十円の業務上横領がはっきりしたので二十三日身柄送検した、調べによれば鵜沼教諭は去る二月中旬受持の三年一組生徒会田良弘君（一八）ほか二十九名から預った大学受験料八万三千四百円を横領したほか、会田君ほか三十九名の上級学校志願用成績調査表作製手数料千八十円、受持クラス卒業生の同窓会入会金五十五名分五千五百円、更に二十六年十一月から二十七年三月までの間に磐高復興費として受持の星睦郎君ほか十九名から徴収した二万円、二十五年四月から二十七年三月までの間に生徒の旅行貯金から十八万千七百五十円、二十七年六月中旬同校野球部が平市田町大塚運動具店から購入した硬式ボール一ダースの代金五千四百円、二十七年四月中旬福島市信夫丘野球場で開かれた県下高校選抜野球大会出場の際の諸経費一万円のうちから八千円、同年七月下旬福島市で開かれた全国高校野球県大会出場費五万円のうちから七千八百四十円、同年九月中旬石城地区高校野球大会の際に各校負担金として集めた二万二千円のうちから八千九百円をそれぞれ横領着服していたもので、横領した金は全部湯本と平の料理屋で遊興費に使ってしまったと自供している、なお鵜沼教諭は二十三日横領総額を弁償した

合格者氏名

本社で掲示

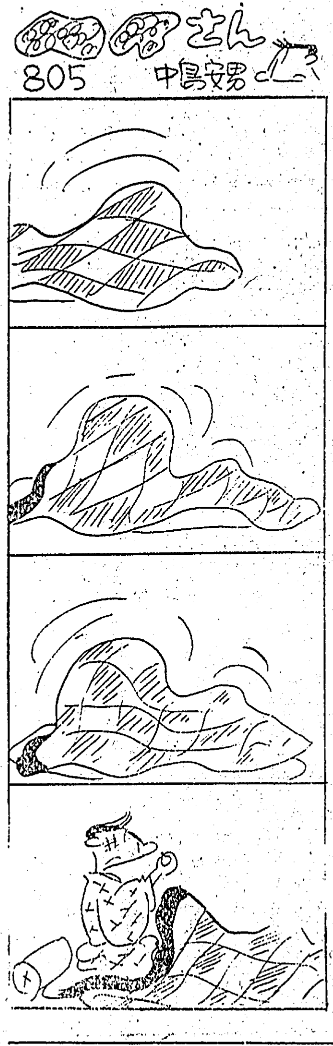
本社では去る二十二日施行された二十八年度県下高校入学試験の合格者を二十五日午前十時本社前特報板に発表する

新豫算　九千七百万

きよう内郷町會開く

内郷町の予算町会は二十三日午前九時から一週間の会期で招集、二十八年度予算九千七百万円を始め各種条例改正など次の二十五議案を附議した

【議案】▼歳計現金予入先議決▼予算内款内流用▼一時借入金▼寄附採納願▼上水道布設工事につき起債▼上水道特別会計一時借入金▼職員の給与に関する条例一部改正▼町長等の俸給に関する条例一部改正▼議会議員その他の委員報酬及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例一部改正▼教育委員会委員の報酬及び費用弁償条例一部改正▼児童福祉施設費用徴収条例設定▼保育所設置並びに管理条例一部改正▼寄附採納願提出▼印鑑条例一部改正▼固定資産評価審査委員会委員の選任▼危険物取締条例設定▼公有林野官行造林地一部解除▼県非常勤消防団員公務災害補償組合規約中一部変更規約▼町税条例一部改正▼決算認定▼二十七年度追加更正予算▼二十七年度特別会計上水道追加更正予算▼二十八年度予算▼二十八年度特別会計上水道予算▼隔離病舎患者徴収条例設定



ラジオ　JOHQ　JOHZ

（24日）

前七・一〇ラジオ談話室　県南の人口史　金沢春友

後六・四五　のびゆく世代　私の青年時代　岡部宗城

後七・三〇ラジオ娯楽室　歌と軽音楽　福島放送軽音楽団　福島放送合唱団

ナショナル　ナショナル
電球　螢光灯　乾電池及ケース
発電ランプ　アイロン　配線器具
硝子セード　類の御仕入は是非弊社へ!!
ナショナル　サンヨー　全製品代理店　平市1の47電636
田村無線電機株式會社

毛布
平専門店会の店
中野洋品店

甘味くめどもつきぬ桃の井の味
観光　銘菓　いわき八景　桃の井
御贈答品に　御土産品に　お茶受けにご利用下さい
製造元　金澤屋
平市一丁目角電三二七

金水

眼科
明雲堂　眼科醫院
新妻幸男
平市　仲田町　ひかり座通り　電話669番

平驛前で　いつ何時でも　お食事の出来る店
トキワや食堂
デンワ　一三九〇

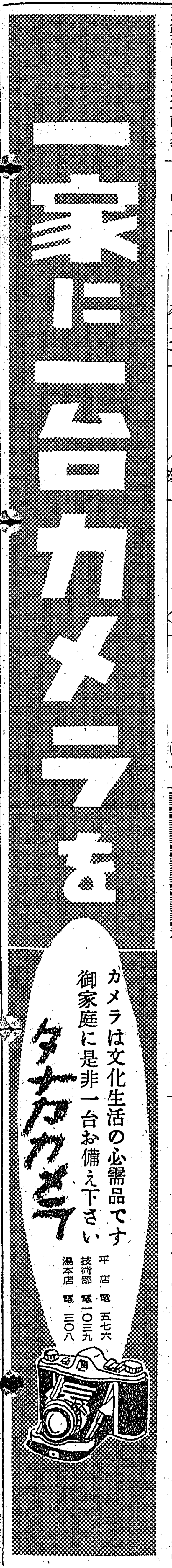
タガス
学生靴　女の黒靴　既製　自家製造　二本立の靴
新店
平指定商チケツトの店

牛肉と豚肉　ハムとソーセージ
藤越
平電1282

割烹旅館
植田町金山新國道筋電367　富久翠

利殖と金融
三菱殖産平営業所
本社　東京都千代田区神田神保町3－27
平市白銀町14　（電1381）

蛇の目ミシン
平市南町電九六〇　草野ミシン商會



一家に一台カメラを
カメラは文化生活の必需品です
御家庭に是非一台お備え下さい
タナカカメラ
平店　電五七六
技術部　電一〇三九
湯本店　電三〇八

雛菊のように優しい店員さん募集
よい店員とはお客様に優しくて、しかも腹の中が親切なひとを言います（みめ、形は二の次）藤越ではこんな人を男女二十名募集いたします
㊇女子商校、商業、洋裁卒
㊇男子は今年の中学卒業生
㊇市内又は通勤可能な地域
㊇自筆履歴書ご持参下さい
藤越
小名浜　平市

銘菓　平五萬石
本舗・株式會社平製パン

各種塗料専門
ペンキ、ワニス、ラッカー、酒精ニス
エナメル、代用漆、接着剤、其他
附属器具及機械一切
株式会社ダイヤ塗料商會
平市南町六七（平和通り）
電話（平）一、三五一番

労災保険指定医
外科（胃腸科）
整形外科
産婦人科
レントゲン科
（入院随意）
永井醫院
院長　永井勝三
植田町本町43電47